

「学ぶ力」		
実態	成果	課題
	<p>◇札幌市共通指標の「意見の違う人とも、よく話し合おうとしている」と答えた生徒の割合が87%→92%と向上した。</p> <p>◇札幌市共通指標の「分からないことがあったときに、友達や先生に聞くようにしている」と答えた生徒の割合が90%→94%と高い数値を保っている。</p> <p>◇札幌市共通指標の「先生や家族以外にも、カウンセラーや相談窓口など、必要なときに悩みを相談できる大人がいる。」と答えた生徒の割合が67%→74%に向上し、改善傾向にある。</p>	<p>◇札幌市共通指標の「自分の意見を進んで発言しようとしている」と答えた生徒の割合が60%→69%と改善傾向にあるが、まだ低い状況である。</p> <p>◇学校評価アンケートの生徒質問において「家庭学習では、自分の興味や関心に合った、前向きに取り組めるような課題が出されている」と肯定的に回答した生徒の割合が70%、保護者質問において「子どもは、学校から出される課題に意欲的に取り組んでいると感じる」と肯定的に回答した保護者の割合が78%であり、家庭学習の取組に更なる工夫が求められる。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の態度〉の現状と課題		
	<p>◇札幌市共通指標の「人の役に立ててうれしいと感じることがある」の肯定的な回答が98%、「学習で困っている友達に声をかけたり一緒に考えたりするようにしている」の肯定的な回答が93%と高い割合である。全国学力・学習状況調査の生徒質問調査において「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」の問いに対し、全国平均と比較して肯定的な回答の割合が高い(+5.7ポイント)。一方で、札幌市共通指標の「自分の意見を進んで発言しようとしている」の肯定的な回答の割合が60%→69%と向上したものの、まだ低い状況である。ICT ツールの効果的な活用等を通じて、意見表明の多様な場を設けられるよう工夫し、自己肯定感や自己有用感を高める取組を進めていく。</p>	

### 「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

### 「他者との学び」を通して「自らの学び」を振り返り、個別最適な学習習慣を確立する

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
	<p>(1) 研究主題「『他者との学び』を通して『自らの学び』を振り返り、個別最適な学習習慣を確立する指導の工夫と授業改善～自分の学びを舵取りできる生徒の育成～」の実現に基づき、各教科の授業実践を交流する場を設ける。</p> <p>(2) 生徒同士の「学び合い」の場面を生かし、自分の考えを発信する場を意図的に設け、発信力の向上を目指す。</p> <p>(3) 新たなアプリ等の使用法の研修を通し、ICTの積極活用による個別最適な学習習慣の確立に加え、思考力・判断力・表現力の向上を目指す。</p>	<p>① 生徒が自ら「学校生活をよりよくしたい」「学級や学年のために何ができるか」を考え、各種委員会・全校協議会・生徒総会等で意見を表明する場を設け、学校行事を自治的に進めていく。</p> <p>② 生徒会による清掃ボランティア、募金、いじめ撲滅に向けたさまざまな活動の推進と、生徒一人一人の主体的な参画を推進する。</p>
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について		
<p>◇先駆的な取組を進めている教職員を講師とした小規模な校内研修会を開催し、ICTツールの有効活用と個別最適な学習習慣の確立を図る。他者の意見を相互参照できるICTツールの利点を生かし、一人一人が意見を表明しやすい場を設けることで、生徒の思考力や表現力を高め、自己肯定感や自己有用感を育む取組を推進する。</p>		

### <本プログラムの実行に向けて>

